



REC

教主好みに躰けられたヨリが

子宮も全部使って貰う修養録



ココロを  
挿入

イカサ



月様専用  
トクトク

【同人作品】  
作：うさぎ兎さめ

ADULTS ONLY

R18+

18歳未満閲覧禁止



REC



アリス



月様専用  
アリス

こにょ2  
挿入

# あらすじ

異世界(エーリアス)に召喚されてしまったあなた。  
エーリアスでの生活にストレスを貯め込んでいた貴方は、  
ある時、月の司祭を名乗るヨミに出会う。  
彼女は貴方にとっても献身的で、全てを受け入れてくれるその様子に、  
溜まり溜まった欲求をヨミにぶつけてしまう。

豊かな胸を揉みしだき、ぷっくりした乳首を振じり伸ばし  
貴方の指1本でキツキツの膣をチンポが挿入る様になるまで潮を  
吹き散らかしても掻き回し、一番大切な子宮はペニスを全部入れる  
為に奥へ奥へと押し潰され、小さな口は貴方専用トイレとなり、  
その全てでイキ散らかす様になるまで調教されてしまう。  
この本は、そうしてあなたと恋人になった後のヨミとの修養録である。

# 登場人物



## ヨミ

エーリアスでのあなたの恋人♥  
徹底的に貴方好みの身体に調教開発  
されてしまい全身性感帯に。  
元々献身性が高く、貴方の事なら  
全て受け入れてしまうヨミと  
フラストレーションの堪る日々を  
送る貴方のストレス解消とが  
噛みあってしまい、今では貴方に  
抱き潰される日々を送ることに。



## YOU/あなた

激やば世界エーリアスに召喚されて  
しまった人間。  
周りはもちほっぺばかりで欲求不満  
且つストレスが限界を迎えていた所  
にヨミと出会い、全てをぶちまける。  
今日も今日とともちほっぺ達への  
ストレスをヨミに癒して貰っている。  
絶倫。

1日中忙しかった教主の蒸れたチ○ポを愛情を籠めて丹念に綺麗にしていく。日課となったキスと舌による汚れ全部を落とすお掃除は教主も唸るレベル。

お掃除の仕上げは口内射精。胃まで届く教主のモノで長〜い射精を直接胃で受け止めるヨミ。教主に躡けられた身体は教主の精子を注がれる度に絶頂してしまう。

1日の終わりに教主の疲れを労うヨミ。

月様……♡  
今日も……んっ♡  
お疲れ様でした♡

最後は尿道の中に残った精子を豊かな胸でしっかり押し出して口で吸いだし飲んでいくヨミ。甘イキしながらも残さず全部吸い出していく。



仕事終わりのお掃除が終わった後は準備してあるご飯の支度。なるべく教主の好みになる様に頑張って料理するヨミ。ヨミ曰く、『私は月様の恋人になったのですから公私にわたって支えるのは当然の事です』との事。

そんな事を言われているので、調子に乗ってちよくちよくエッチなちょっかいを掛ける教主。ヨミの身長に似合わず豊満な胸を台座に載っている為ギリギリ屈まなくても届く教主の大きな手で遠慮なく揉みしだかれると、足を震わせて感じてしまうヨミ。

きゃっ♡  
きよ、教主様……っ♡  
お、お料理中は危ないので……っ♡

んっ♡ あっ♡  
あ、あまり強く揉まれるとっ♡  
イってしましますからっ♡  
あ、後でならいくらでも頂いて構わないので……んあっ♡

何時までも新婚の様な、付き合いたての恋人の様な甘い仕草で教主のチ〇ポをイラつかせるヨミ。本人にそのつもりは全くなく自覚もない所為で食後はいつもめちゃくちゃにされてしまう。

ふーっ♡ ふーっ♡  
はい、月様……あーん♡  
今日のご飯はお口に合うでしょうか？

うん、おいしいよ

♡♡♡  
お代わりもありますから好きだけ召し上がって下さいね♡

ホバギー〜

4っ♡  
4っ♡

♪

くっ♡  
くっ♡

がっ♡  
がっ♡  
がっ♡  
がっ♡  
がっ♡  
がっ♡

たっ♡

たっ♡

日課の食後の運動をする教主達。  
教主のチ○ポをイラつかせた分、激しく腰を叩きつけられてイキまくるヨミ。  
教主に躡けられたヨミの身体は当然の様に子宮まで迎え入れ全力媚び子宮でご奉仕。  
足りない分は更に奥に押し込まれ教主の長くて太いチ○ポを全部啜え込み最高級の締め付けで教主を喜ばせるヨミの身体。



教主の運動が終わった後はヨミの番。  
しかし、イカされまくり奥の奥まで教主のを啜え込んだままのビクつく子宮で動けるはずもなくただただ教主の上で身体を震わせイキ続ける事しか出来ないヨミ。

連続絶頂で焼かれる脳で何とか月様への謝罪をうわ言の様に繰り返す。





“……そうだよね  
ごめんねヨシ”

こえっ

あっ

“ヨシの中で射精し  
たくて無理言っ  
てごめんね”

っ、  
アキナマ……

あ、  
アキナマ……

“じゃあヨシの口で  
して貰おうかな”

ひひ



っ、月様っ！

すみません月様  
私がかどうかして  
いました……

月様、ヨミの事  
沢山絶頂させて下さる♡

“えっ  
……本当に良いの？”

はい、勿論です♡

私は月様の  
恋人ですから♡

にぱー♡

私の心も身体も  
月様のもの♡

それに……私も  
月様のお情けを子宮に  
頂けるのは……  
幸せ、ですから……♡

“ヨミ……じゃあ  
本当にするよ？”

はい♡

私の至らなさを故に  
月様のお手を煩わせて  
しまいますが……

月様に気持ちよく  
お情けを頂けるよう

精一杯ナカを締めて  
ご奉仕させて頂きますね♡





教主に何回か子宮に精子を注いで貰う頃には意識がとんでしまうヨミ。ヨミが倒れないように毎回トぶ度に調教済みの柔らかく豊満な胸を掴んで支えて貰う。

“ヨミ、緩くなってきたからナカももっと締め”

“おっとっ!”

ガ  
ミ  
ツ

“あー……まだ射精る……”

ヨミの身長に似合わない大きく揉み心地の良い胸を遠慮なく揉みしだかれながら尿道に残った精子をイキ疲れた子宮で受け止めていく。開発調教で敏感になった乳房で追いアクメをしながら意識がないながらも愛しい教主のチ○ポに胸イキ締め奉仕するヨミ。

“またトんじゃったか……流石にこれ以上はキツイかな?”

あ……

あ……

あ……

あ……

あ……

あ……

あ……

教主を気持ちイイ射精に導けたご褒美に頭を撫でて貰いながら褒めてもらうヨミ  
愛しい月様のを子宮まで啜え込みながらのご褒美は、月様への愛情が更に高まる至福の時。

“ヨミ、起きたか？”

はーっ♥ はーっ♥  
ごめんなさい教主様  
また意識を  
失ってしまっ……

“何言ってるのヨミ  
ヨミのおかげで今日も  
凄く気持ち良かったよ”

っ、月様……っ♥♥♥

“今日もありがとね  
ヨミ”

っ♥♥♥♥♥

恋人になって長く時間が経ったのに未だに日に日に  
教主への愛情が増していくヨミ。  
それなのに自分の身体は日に日にイキ易くなり  
月様を満足させる事も出来なくなっていく事が  
苦しくて仕方がないヨミ。

月様は本当に  
お優しい方ですね……

……それに比べて私は……

“？ヨミ？”

あ、すみません教主様  
今すぐお掃除させて  
いただきますね♥

“うん、よろしくね”



月様♥  
ではお掃除させて  
いただきますね♥

行為の後は教主の全身を丹念に舐め上げて掃除していくヨミ。自分を愛してくれた教主のチ○ポにも当然しっかりと感謝を込めて舌全体を密着させて綺麗にしていく。

教主様♥  
教主様♥

足の指1本1本にも舌を絡ませて吸い付きながら掃除するヨミ。時間をたっぷりと使い行われるヨミの口だけを使った全身お掃除は極上のひと時を教主へともたらす。

掃除が終わった後はお風呂タイム。  
その前に教主にスッキリして貰うヨミ。  
舌の上に亀頭を載せ、手でしっかり  
支えて受け止めていく。

終わった後は尿道に残った分も小さな  
口で吸い付き全部吸い出していく。

“ふうー”

ふん

ふん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

愛おしそうに背中を流すヨミ。  
愛情を籠めて全身をピカピカ  
に磨き上げていく。

“ありがとうヨミ”

♥♥♥  
月様にご奉仕するのは  
恋人である私にとって  
当然の事ですから♥

それは良かったです♥  
何かあれば  
仰って下さいね♥

今日もお疲れさまでした♥

月様♥  
痒い所はございませんか?♥

“うん、大丈夫だよ”

ん

ん

ん

ん

ん

湯船に浸かる前に子宮と膣の精子を  
掻き出して貰うヨミ。  
掻き出してるだけなのに足をビクつかせ  
立ってるのが難しい程イキ散らかしてしまう。  
全て出し切る頃には教主の手をやわやわにふやか  
してしまいう程潮を吹いてしまうのはいつもの事。

“ヨミ、もっと力んでナカ  
締めて押し出して”

んっ♥ あっ♥  
っ、月様……っ♥

あ、あんまり  
揉まれると  
イッてしまう  
ので……っ♥

湯船に漬かりながら豊満な胸を  
揉みしだかれるヨミ。  
教主にとってお風呂に入ってる間の  
手慰みとして揉んでるだけだが  
開発されきったヨミの胸は甘イキを  
繰り返してしまう。

“ぞうろ？  
じゃあもう  
ちょっと強く揉むね”

“えー、だめ？”

“んー？”

……っ♥  
月様が望むのであればっ♥  
い、いくらでも……っ♥  
ふ……っ♥

ツッ♥♥♥  
“……っ♥  
……っ♥”



寝る直前に顔を見ながら感謝を伝える教主。  
大好きな愛しの月様の至近距離での囁きと顔に  
きゅんきゅんドキドキして仕方がないヨミ。

“ヨミ……”

You

キキキ  
キキキ

っ!?  
っ、月様?

“いつもありがとねヨミ  
ヨミのお陰で最近  
ここでの生活も悪くない  
って思える様になったよ”

っっっ♡♡  
わ、私の方こそ月様の  
お傍に居る事が出来て  
夢のようで……っ♡

大好きな人に愛を囁かれながらのディープキス。  
あまりの嬉しさと月様への愛情で身体が勝手に  
イキ散らかして潮を吹いてしまうヨミ。  
仰け反り跳ねる身体を豊満な胸を  
揉み掴まれて逃げられない様にされながら  
意識がトぶ直前まで教主から愛を注がれ続ける。

“ふふ、じゃあ  
一緒に気持ちだね”  
“愛してるよ、ヨミ”

キキキ  
キキキ

You

“だーめ  
もっとヨミの  
可愛い所見せて?”

キキキ  
キキキ  
キキキ

キキキ  
キキキ

“キスでもイける  
様になっちゃったの?  
ヨミは本当に可愛いね”

“まっ待ってよ、ヨミ”  
“か、体がなごい……”  
勝手にイキ……”

NOTIUM Elena. NotIUM Elena.

キキキ  
キキキ  
キキキ

落ち着いた後のゆったりとしたひと時。  
愛する教主への溢れそうになる言葉たちを  
抑え、愛情を籠めて一言だけ発するヨミ。

月様……

“ん？”

……おやすみ  
なさいませ

“うん  
おやすみ、ヨミ”

ヨミにとって月様に  
傍に居て欲しいと求められる事は  
夢のようで、これ以上の幸せは  
考えられない。  
故に、この夢の様な幸せが  
ずっと続きますようにと  
祈りながら眠るヨミ。

おやすみなさい。  
良い夢を。



久しぶりに『寝バック』で愛してもらおうヨミ。  
二人にとって寝バックは、教主のチ〇ポと  
ヨミのお腹に敷いた鉄板との間で子宮を挟み、  
ズリズリ子宮擦り潰しエッチの事。

## ヨミが月様に『寝バック』で愛して貰う話

作：うせぎ兎せめ

教主からの行為は何でも受け入れる覚悟  
があるヨミでも、これから子宮が  
滅茶苦茶になってしまうのを想像して  
小さな身体が震えてしまう。

“ヨミ、寝バック  
久しぶりだけど大丈夫そう？”

ご心配下さりありがとうございます  
ございます教主様

ですが、教主様が  
なさりたい事が私の  
したい事ですから……



最近教主がはまっているハメ撮り。  
律儀に答えていくヨミに教主のチ○ポも  
より一層硬くなっていく。



REC

“じゃあ、いつもの  
やつやろっか”  
“これからヨミがどう  
なるのか教えてくれる?”

……わ、私はこれから教主様の  
とても大きく硬いお○んぼ様に  
私のすぐにイキ散らかしてしま  
うざ子宮をお腹に敷いた鉄板との  
間に挟んで摩り潰して貰います♡

“へえ、でもそんな  
ことしたら大変な事に  
なっちゃうんじゃない?”

仰る通りです……  
月様の恋人として恥ずべき  
事です月様を気持ちよく  
する前に私だけイキ散ら  
かしてしまいます……

“それだけじゃないよね?”

うう……本当に情けない事なのですが、  
余りに快感が強すぎて……  
月様にもう無理ですと懇願したり……  
意識を飛ばしたりしてしまいます

で、ですが、今日こそは月様に満足して  
頂けるまでナカ締めご奉仕頑張りますっ♡

“そっか……期待してるね  
じゃあ最後にピース  
しながら何か一言言って”

……月様、お慕いしております  
どうかこれからもこのヨミを  
お好きなように使って  
月様に気持ちよくなって  
いただけたら嬉しいです♡



子宮を奥へ奥へと押し潰しながらの挿入。  
これ以上奥へ行けなくなった子宮の入り口を  
こじ開けようとする教主のチ○ポに  
絶頂して力んでしまうヨミ。

“ヨミ、力抜いて  
子宮に挿入らないよ”

“仕方ない  
じゃあ決じ開けるから  
意識トばしちやダメだよ”

まっ♡まっ♡くたナッ♡  
ゆ、緩めますっ♡  
子宮の入り口ゆるめまっ♡

ゴ、ごめんなさいっ♡  
イッ♡しきまっ♡  
ち、ちからが勝手にっ♡

絶頂最中の子宮に無理やり  
侵入されてしまい、より重い  
絶頂をしてしまうヨミ。  
たださえ子宮内へのお迎えは  
凄まじい快楽をヨミへともたらす。

ちゅん♡  
ちゅん♡  
ちゅん♡

“あー、やっぱり  
ヨミの子宮気持ちいいよ”



強すぎる快樂に身体をそらして  
逃げようとするヨミだが……。



「ヨミッ?」  
「なんで身体逸らしてるの?」

「オ……オ……オ……」  
「オ……オ……オ……」  
「オ……オ……オ……」  
「オ……オ……オ……」

「オ……オ……オ……」  
「オ……オ……オ……」  
「オ……オ……オ……」

「オ……オ……オ……」  
「オ……オ……オ……」  
「オ……オ……オ……」

「……」

許してもらえないはずもなく  
重い絶頂中の子宮のナカに入れた  
チ○ポを鉄板に擦り付けられて  
床オナ子宮オナホになるヨミ。



「ダメ」  
「どうせずっとイキっぱなしで  
少しだけなんていつまで経っても  
終わらないんだから」

「それよりほら  
久しぶりの子宮で床オナ  
するのはどう?」

「……ヨミ、イッて  
ないでちゃんと答えて」

「オ……オ……オ……」  
「オ……オ……オ……」  
「オ……オ……オ……」

30分後

掠れた呼吸を繰り返すしか出来ないヨミ。そんな中ヨミの子宮は教主チ○ポを気持ちよくしようと媚びて吸い付く。啜え込んだまま繰り返される子宮からのポルチオキスを動かさず堪能する教主。

“あー……きもち……”

“ヨミ、続けるね”

ぐぐぐ

……おっ

ギョッ

ギョッ

ム

ム

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ













REC

数時間後

“はい、ちーず”

たゆい

“気持ち良かったよヨミ  
あの後はちゃんと意識  
トばさなかったから嬉しいよ”

月様専用  
トトトトト

アハハ  
ククククク

ははは  
ははは  
え、えへへ

つつきさまがのぞむ  
のであれば……っ♡  
ど、どんな事でも、シて  
みせます……からっ♡

〜♡♡♡〜ん♡♡♡

いっ♡♡♡いっ♡♡♡

こにょぞ  
挿入さ

“あー、そろそろ片付けしないと……”

つきさま……  
申し訳ありません……  
腰が抜けてしまっていて  
お役に立てそうにありません

“いや、しょうがないよ……  
これは私が悪いからね……”

そのようなことはありえませんが  
月様は何も間違っていない  
これは私の不甲斐なさ故の……

！  
月様……私から動くことは  
叶いませんがこのまま  
お掃除とおトイレをさせて  
いただけないでしょうか？

逆流しない様に喉をちゃんと締めて  
貰いながらおトイレになるヨミ。  
度重なる調教開発で喉に挿入されてる  
だけでイキ散らかしてしまう。

“ヨミ、最高だよ  
いつもありがとうね”

“ふー……  
あー、めっちゃやる……”

happy END♡



あなたの小さくて巨乳の恋人は  
とんでもなく献身的で……

@usagitosameko

あなた自ら調教済みの  
何してもイク身体を今日も  
好き勝手に使っていく